

あなたにそして自分にも

どんまいどんまい



**会長、長い間本当にご苦勞様
でした。心から感謝します。**



親のおかげで今の自分がある事をしみじみ感じている武田英昭です。

2月19日の会長の葬儀にご参列頂きました皆様に改めて感謝申し上げます。

それに、沢山の御香典や生花や供物も頂きまして本当にありがとうございました。

そして、弔電も本当に沢山顶きまして、改めてお礼申し上げます。

これまで、会長が現役で頑張っていた時、お世話になったお客様、現在お付き合いさせてもらっているお客様すべての方にお礼申し上げます。

私の父親の人生を振り返ってみれば、今の自分の苦勞なんか、苦勞の内に入っていないと思っています。

父は太平洋戦争で、陸軍の通信兵として満州にいた時に終戦になり、ソ連に捕虜として連れて行かれ、抑留させられました。

抑留生活は私達の今の生活からは想像も出来ない

「どんまい どんまい」

他の月の「どんまい どんまい」を見逃した方は**鞆タケダのホームページからぜひ御覧下さい。**

失敗した時、がっかりした時、つらい思いをした時、落ち込まず再チャレンジ出来る様にとの思いで、あなたと私の心のかけ橋レターを送ります。毎月1回発行 発行編集責任者 武田英昭 鞆タケダ 山形県山形市あかねヶ丘 3-18-1 電話：023-644-5633 FAX：023-644-5663

メール：takeda02-ht@yamagata.email.ne.jp

ホームページ URL：<http://www.k-takeda.net/>

金物ショップタケダ：<http://www.ks-takeda.biz/>

ブログサイト：<http://donmai55.seesaa.net/>

程つらい苦しいものだったそうです。

本人から私が聞いた話によると、外でおしっこをしているとおしっこが地面からたちまち凍ってきて逆に自分まで届きそうになったそうです。

それに、ろくな食糧も与えてもらえず、ソ連兵の残した残飯の腐れたキャベツのスープ等が与えられたそうです。

外で、蛇や野鼠などを見つければ喜んで捕まえて食べたそうです。

仲間がどんどん餓死していったそうです。

本人も生きて日本に帰って「おはぎ」を食べる事を夢見て頑張って生き抜いたそうです。

無事、生きて日本に帰ってきてからは、どんな苦勞も苦にならなかったそうです。

母と結婚した時は、茶碗とハシしかないような生活から始まって実家の鍛冶屋の包丁とかを売らせてもらって、そこからノミとか鉋を扱うようになったそうです。

夏場は、自転車と鉋やノミを秋田駅まで送って、そこから青森県まで自転車をこぎながら全部売るまでは帰らない覚悟で売り歩いたそうです。

夜は駅のベンチで寝て宿代を節約したそうです。

本当に裸一貫から商売を始めて、仕事一筋に歩んできた人生でした。

60歳の頃からは、ジョギングを楽しんでいました。そのおかげで心臓が丈夫で今まで長生き出来たのかもしれない。

それに、抑留生活の苦しさを味わっていたので、生活は質素で儉約を徹底していました。

そのおかげで現在の生活が出来るようになったと思っています。

会長！本当に心から感謝します。

ありがとうございました。

ゆっくり休んで下さい。

武田英昭

鼻からの胃カメラってこんなに楽だったんだあ♪



胃カメラを飲んで、胃がんでなかったのほっとしている武田英昭です。

健康診断のバリウム検査でひっかかってしまい、胃カメラを飲んで精密検査を受ける事になりました。

検査日が近づくにつれて、だんだん不安になり、会社の事や家族の事を考えてあれこれ心配していました。

胃カメラの検査結果では、迷入臍(めいに入うすい)が胃の中にある為にバリウム検査でひっかったようでした。

迷入臍は胃の中に臍臓の細胞の一部が入っている奇形だそうです。

胃の裏側に臍臓があるのですが、胎児期に胃と臍臓の組織が分かれる時に、臍臓の組織のごく一部が胃の筋肉の層に誤って入り込んだ状態で胃と臍臓が別れてしまった為におきた奇形だそうです。

めったにないそうですが、生まれた時からそうなっていたそうです。

バリウム検査では、その迷入臍の箇所バリウムが溜まってしまうので、異常判定になってし

まったようでした。

胃カメラを鼻から挿入して検査してもらっている間中、ずっと自分の体内の様子を自分でしっかり見ていました。

鼻からの挿入は本当に楽で嘔吐感も全くなく、最初は自分の鼻毛がこんなに太いのかあなんて思いました。

それから食道を通って胃の中に入っていった時もほとんど苦しさもなく、自分の胃の中にある迷入臍も確認出来ました。

胃がんでなくてほっとしたのですが、先生から胃がんではないですが、「ヘリコバクター・ピロリ菌」が胃の中において胃炎を起こしています。

と言われました。

ピロリ菌感染率は、上下水道が十分に完備されていなかった時代に生まれた団塊の世代以前の人で約80%前後の人が感染しているそうです。

このピロリ菌をしっかり除菌しないと胃炎から胃潰瘍になり胃がんにつながっていくそうです。

私も先生からピロリ菌の除菌を勧められました。私はこれから、まだまだ健康で長生きして働かなければならないので、しっかりピロリ菌の除菌をしたいと思いました。

まずはどの位のピロリ菌に感染しているか血液検査をしてその結果に合わせて「除菌療法」を決めていくそうです。

もうすぐ還暦になるのですが、健康を維持していくのはなかなか難しくなって行きますね。

自分でも健康管理はしっかりしているつもりなんですが、年齢には勝てないようです。

しっかりピロリ菌を除菌して、また頑張っていきたいと思っています。

自分では何の症状も出ないので、まさか自分の胃の中にピロリ菌がいるとは思ってもみませんでした。早くわかってラッキーでした。武田英昭

“どんまい どんまい”を読んでいかがだったでしょうか。「あなた」の感想をお聞かせ下さい。

電話 023-644-5633

FAX 023-644-5663

Eメール takeda02-ht@yamagata.email.ne.jp

武田英昭までお願いします。
どんな事でもいいです。
是非ともおねがいします。

待ってま〜す。

